

# SABO NEWS LETTER

第 53 号【発行日】平成 14 年 6 月 3 日（月）【発行】（社）全国治水砂防協会

## 目 次

- 1 . 目次，当面の行事予定 . . . . . 1
- 2 . 国土交通省砂防部長よりご挨拶 . . . . . 2
- 3 . 土砂災害防止月間の実施について . . . . . 7
- 4 . 平成 14 年度土砂災害防止推進の集い（全国大会）開催迫る！ . . . 8
- 5 . 「21 世紀の土砂災害対策を考える懇談会」について . . . . . 9
- 6 . 砂防設備の安全利用点検の実施について . . . . . 11
- 7 . 平成 14 年における土砂災害の概要 . . . . . 12
- 8 . 災害関連緊急対策事業の採択状況 . . . . . 13
- 9 . 災害関連緊急事業 続々竣工！ . . . . . 14
- 10 . 平成 14 年における山林火災災害 . . . . . 15
- 11 . （社）全国治水砂防協会第 65 回通常総会開催される . . . . . 16

## 当面の行事予定

平成 14 年

- 6/1 ~ 30 土砂災害防止月間
- 6/1 ~ 7 かけ崩れ防災週間
- 6/3（月）第 2 回 21 世紀の土砂災害対策を考える懇談会（砂防会館）
- 6/6（木）土砂災害防止推進の集い（全国大会）（岐阜県岐阜市）
- 6/17（月）砂防関係災害対策講習会（関東・甲地区）  
（砂防会館別館利根会議室）
- 6/21（金）日韓砂防講演会（砂防会館別館 利根会議室）
- 6/21（金）2002 日韓職能文化交流会（日比谷公会堂）
- 6/24（月）砂防関係災害対策講習会（北海道・東北地区）（宮城県仙台市）

ご質問，ご意見，ご感想，記事の詳細内容等，お問合せ先

**社団法人 全国治水砂防協会**

担当 宮内，小林，阿部，畑川，藤川

住所 〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話 03-3261-8386 FAX 03-3261-5449 E-mail : kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください

<http://www.sabo.or.jp/>

皆様へ

砂防部長 岡本 正男

## ① 土砂災害防止月間

6月1日から1ヶ月間は土砂災害防止月間です。

昭和57年7月23日、長崎災害で299名の方が亡くなりました。より一層のソフト対策の必要性から、これを契機に「土砂災害防止月間」が始まりました。

昭和58年の第1回目は長崎市で「雨降れば地ゆるむ」、20回目の今年は岐阜市で「知らせる努力、知る努力」が標語です。

昭和58年、第3版の「広辞苑」に初めて「土石流」が入りました。

悲しくも、残念なことですが、砂防、防災行政は尊い人命を犠牲にしたから進まざるを得なかった事実や現実があるということをおぼえてはならないと思います。

## ② 21Cの土砂災害対策を考える懇談会

4月30日に、上述の懇談会を開きました。14人の委員(内6名は女性委員)全員出席されました。色んな角度からの意見をいっていただき、文筆、福祉、教育、IT、エコ、都市環境、気象、地方行政、NPO等各方面の方にお話ししました。第1回目は、日本がおかかっている自然、社会・経済環境と土砂災害の現状を図やグラフで説明しました。

地域住民の土砂災害に対する認識が低く、今後の社会を築く上で如何に地域の防災力を上げていくか等、多くの貴重な意見をいただきました。2回目は、6月3日と予定しています。

図-1 に、地域住民へのアンケート結果を示しています。

③ 今年はエルニーニョ

伊藤和明委員の助言で、エルニーニョ現象の年とそうでない年の災害の状況を調べました。図-2のように、過去25年間でエルニーニョの年は1.243件/年、そうでない年は718件/年で歴然です。しかも近年元のインターバルは短くなっていきます。昭和57年の長崎災害もエルニーニョの年でした。図-1からさまでいすれも21の懇談会で出した資料です。その他、国庫省の重要な施策として観光振興をとっていますか。約91%の人気温泉地が土石災害危険箇所というデータも懇談会で提供しています。(図-3参照)その他にも多くのデータを提供しています。もし必要であればご連絡下さい。

④ 足ぬくなる石砂防の知識? 「さほう」 or 「しゃほう」?

紙面の関係で簡単に書きます。特に「しゃほう」の観点から。

i) 吳音が「シヤ」、漢音が「サ」、吳音が古いので「しゃほう」も近畿を中心に渡来人が多く、古くから住んでいたのと、近畿を中心に「しゃほう」と言う先輩が多い。桓武帝の時に漢音に統一された。しかし

ii) 「土砂」の「トシヤ」として「しゃほう」。真言密教の秘法に「土砂加持」があり、仏典に関しては吳音が残った。

iii) 民部省通達(1871年)「土砂溢漏防止」からの「土砂」の「シヤ」と防止の「ホウ」で「しゃほう」

iv) 近畿を中心に西の方では「せ」を「しゃ」、「せ」を「しえ」と発音していた。400年位前から関東地方を中心に「しえ」を「せ」と言うようになった。江戸時代は、sa, xi, su, xe, soで「せ」は「サ」。

今では、「しゃほう」と言う人はいませんか。私の若い頃は先輩でそう言う人がおられました。広辞苑にも「さほう」と引くと「しゃほう」とも書いてあります。SABOかSHABOか? 「しゃほう」が消えていくのが寂しい気がします。ご意見をお聞かせ下さい。

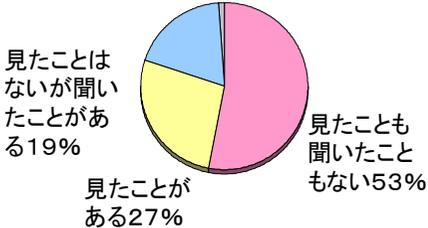
あなたの住まいは安全？危険？  
～土砂災害危険箇所周知に関わるアンケート結果～

図-1

①家の近くに土石流危険  
渓流があることについて



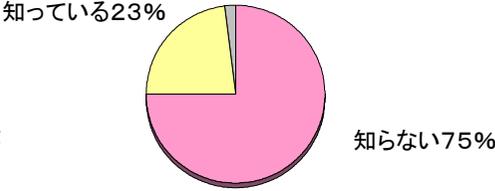
②家の近くで土石流危険  
渓流を表示した看板等について



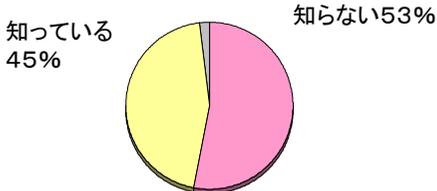
③市町村地域防災計画書  
への土石流危険渓流名  
の掲載状況について



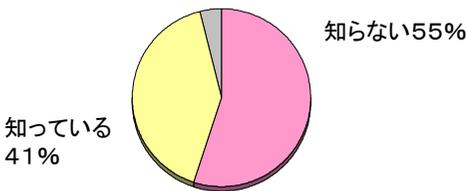
④土砂災害危険箇所  
マップについて



⑤居住地区の指定避難場  
所について



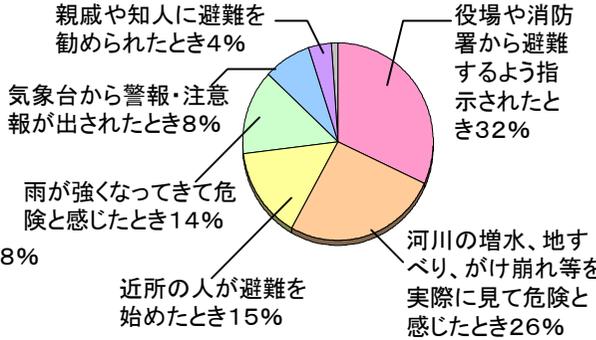
⑥安全な避難路について



⑦土石流に対する心構え  
や、土石流が発生する予  
兆現象について



⑧どのようなときに避  
難をするかについて

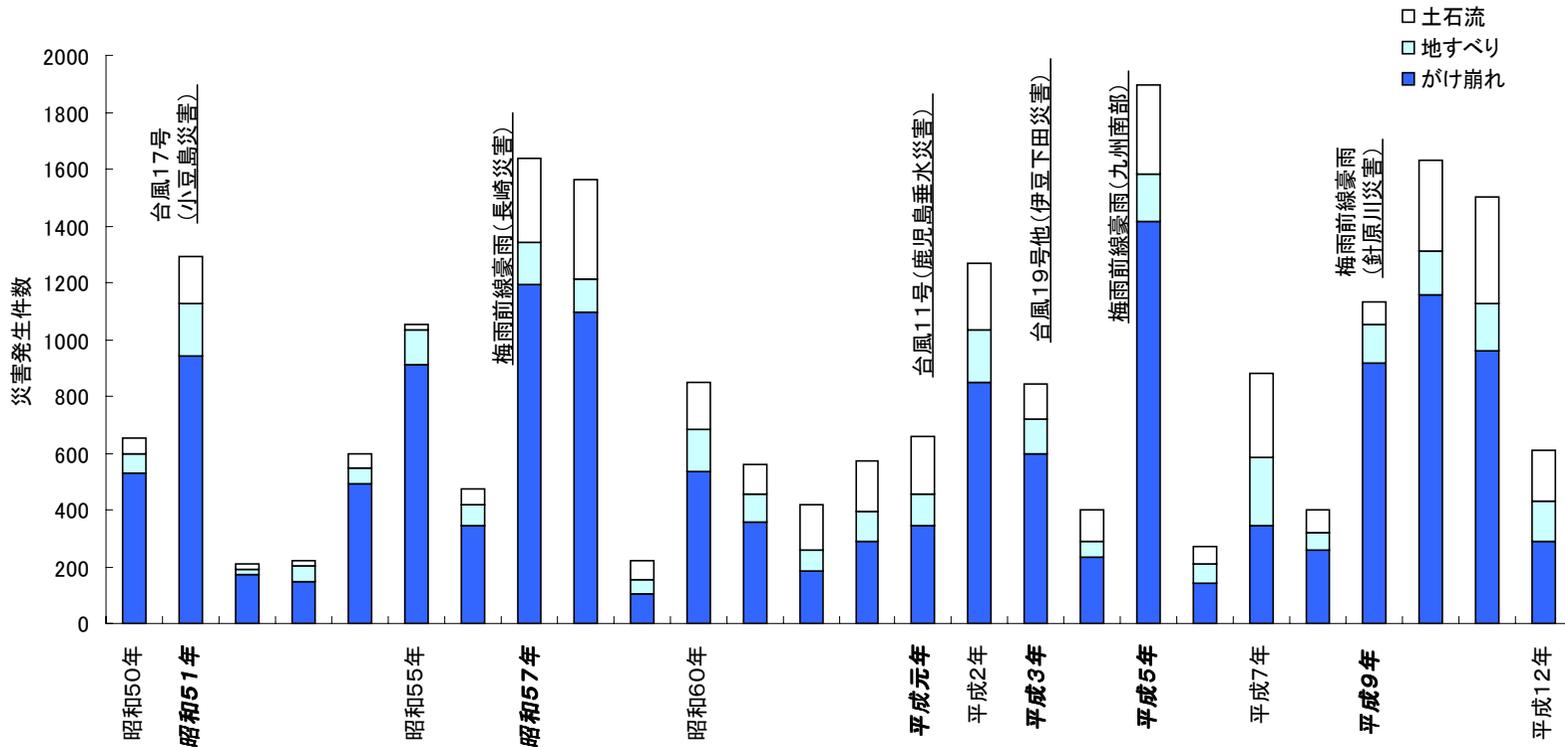


資料:「自然災害の危機管理」ぎょうせい P160  
—平成9年11月建設省砂防部調べ 土石流危険渓流に住む住民を対象  
(配布7, 699世帯、回答4, 378世帯、回答率56.9%)

# 土砂災害の発生件数とエルニーニョ現象の関係

図-2

**エルニーニョ現象**: 南米沿岸から日付変更線付近にかけての太平洋赤道域において、数年おきに海面水温が平年より1～5℃高くなり、半年～1年半程度続く現象



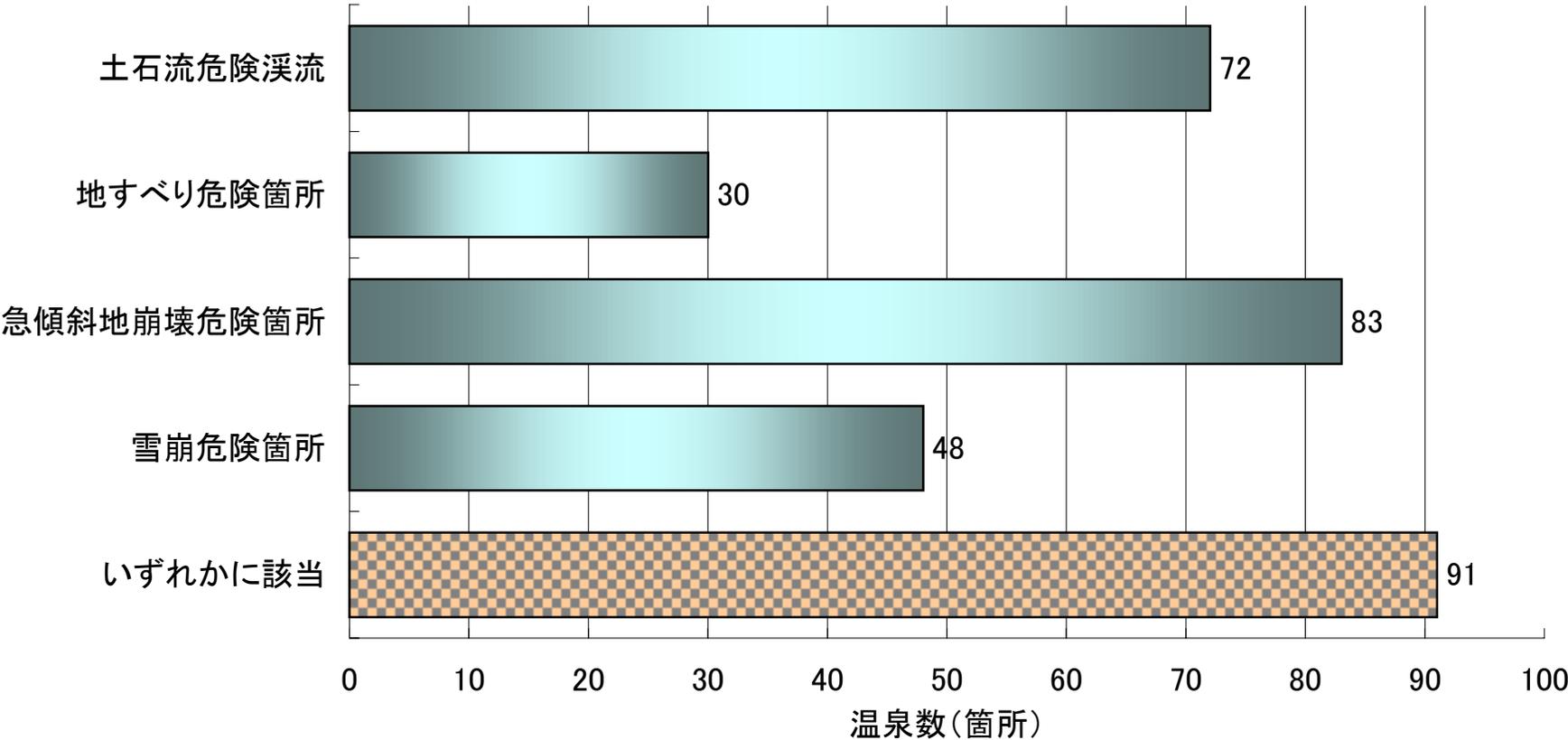
(斜体字年はエルニーニョ現象発生年)

エルニーニョ現象発生年の平均災害発生件数	: 1,243件
エルニーニョ現象発生年以外の平均災害発生件数	: 718件

資料 土砂災害発生件数: 「土砂災害の実態」より  
 エルニーニョ現象発生年: 気象庁ホームページより  
<http://www.kishou.go.jp/know/whitep/3-2-1.html>

『温泉100選』と土砂災害等危険箇所

図-3



温泉100選: 観光経済新聞社が利用者アンケート結果から選定

資料: 砂防部とりまとめ

# みんなで防ごう！ 土砂災害

～ 土砂災害防止月間(6月1日～30日)の実施について～

平成14年度「土砂災害防止月間」は、土砂災害から人命、財産を保全するため、住民と行政が常に情報を共有し、役割を分担するシステムを構築し、行政側の「知らせる努力」と住民側の「知る努力」とが相乗的に働くよう、以下の項目に取り組みます。

- ・土砂災害防止推進の集い(全国大会)の実施
- ・土砂災害防止法の普及の推進
- ・情報の共有化の推進
- ・土砂災害防止のための講習会・講演会・見学会の開催
- ・災害弱者関連施設への土砂災害防止のための取り組み強化
- ・広報活動の推進

## 1. 目的

「土砂災害防止月間」(6月1日～30日)は、昭和57年の長崎県豪雨災害を契機として、昭和58年に創設され、土砂災害防止に関する国民の理解と関心を深めるため、防災知識の普及、警戒・避難体制の整備等に関する各種運動を実施することにより、土砂災害による人命、財産の保全に資することを目的としています。

## 2. 実施主体

国土交通省及び都道府県

## 3. 期間

平成14年6月1日(金)～30日(土)

(6月1日(金)～7日(木)の一週間は「がけ崩れ防災週間」)

## 4. 運動のテーマ

「みんなで防ごう土砂災害」

## 5. 土砂災害防止推進の集い(全国大会)の開催

土砂災害防止推進の集い(全国大会)を6月6日(木)に岐阜県岐阜市、現地見学会を6月7日(金)に多治見市、白鳥町、根尾村等において実施します。

## 平成14年度（第20回） 土砂災害防止推進の集い（全国大会）開催迫る！

### 開催目的

昭和57年長崎の集中豪雨災害をきっかけに、行政と住民が一体となって土砂災害防止に努める必要をアピールすることを目的として、6月を土砂災害防止月間と位置付け、翌年の昭和58年に長崎で第一回大会が開かれました。それから20回目となる大会が、平成14年6月、岐阜県で開催されます。

土砂災害に対しては、人命保護を中心に「知らせる努力・知る努力」を基本として、「危険区域図の作成・配布」「監視システム整備事業」など、警戒避難体制を確立するための施策が行われてきました。また、平成13年4月には「土砂災害防止法」が施行され、ハード対策を補完し、土砂災害防止にこれから多大な効果を発揮することが期待されています。

岐阜県は、「飛山濃水」と呼ばれる変化に富んだ地形、自然環境を有している一方で、土砂災害を受けやすい地帯ともなっており、平成11年、12年には大雨により甚大な被害を出した経験を持っています。

土砂災害に対する警戒避難にとって「情報」が重要であることは言うまでもありません。岐阜県は戦略的に情報基盤整備を推進しており、土砂災害防止に対してもITの有効性に期待をかけて臨んでいます。そこで、第20回の節目となる土大会では、情報技術を活かした土砂災害防止のあり方について、さまざまな立場の参加者が具体的事例をもとに意見を交換し合い、土砂災害で人命を失わない社会の実現を目指します。

### 開催テーマ

知らせる努力・知る努力 - 土砂災害とIT防災 -

### 開催日時

平成14年6月6日（木）13:30～16:30「土砂災害防止推進の集い（全国大会）」  
1) 式典 2) そのほか  
6月7日（金）現地研修会（時間はコースにより異なる）

### 会場

土砂災害防止推進の集い：岐阜市・長良川国際会議場メインホール「さらさ～ら」  
現地研修会：コース A) 山切谷 B) 根尾谷断層 C) 中峰谷

### 対象

一般住民、防災担当者、砂防工事従事者、砂防ボランティア等

### 主催等

主催 国土交通省、岐阜県

### その他

土砂災害防止推進の集い（全国大会）に併せて、下記の行事を実施。

砂防ボランティア全国をつどい

「砂防関係工事安全施行管理技術研究発表会」並びに

「砂防関係工事現場代理人の会」総会

**「21世紀の土砂災害対策を考える懇談会」について****1. 懇談会開催の背景及び趣旨**

我が国は、豊かな自然に恵まれている一方で、急峻な地形、脆弱な地質、台風や集中豪雨等に見舞われやすい厳しい自然条件におかれ、台風等による豪雨、地震、火山噴火等により、土石流、がけ崩れ等の土砂災害が起きやすい環境にあります。

近年では平成11年広島の土砂災害、平成12年の有珠山や三宅島での火山噴火災害等大規模なものをはじめ、年平均1,000件もの土砂災害が日本各地で発生しています。

一方、近年の土砂災害の危険箇所の増大等に対応するため、土砂災害の恐れのある区域についての危険の周知、住宅の新規立地の抑制などソフト対策を講じることが目的とした、土砂災害防止法（土砂災害防止対策の推進に関する法律）が平成13年4月に施行されているところです。

このような諸情勢を踏まえ、国土交通省河川局では、将来の社会経済情勢、ライフスタイルの変化等に的確に対応し、21世紀の安全で美しい国土づくりに向けて、土砂災害対策全般にわたり、今後の基本的政策の立案等に資するため、「21世紀の土砂災害対策を考える懇談会」を開催し、ご提言等をいただくことといたしました。

**2. 懇談会の概要について**

懇談会では、学識経験者、一般有識者等14名から構成され（別紙のとおり）、技術的・専門的な視点に加え、社会経済、環境、文化・歴史、まちづくりなど様々な分野から、また、生活者、女性等の視点から、土砂災害対策のあり方や進め方等についてご意見等を幅広く聴取し、ご提言等をいただく予定です。

なお、土砂災害対策全般にわたり、総合的に今後の施策についてご議論いただく懇談会の開催は、今回が初めてのことです。

（次項へ続く）

3. 第1回懇談会について

第1回懇談会は下記のとおり開催しました。

日時：平成14年4月30日（火） 14:00～16:00

場所：国土交通省4F特別会議室

議題

- (1) 懇談会の運営等について
- (2) 日本を取り巻く社会経済情勢と土砂災害の現状と課題  
日本国土と社会経済情勢の現状と将来  
土砂災害の現状と課題

主な議事概要

国土交通省砂防部のホームページをご覧ください。

21世紀土砂災害対策を考える懇談会

委員名簿

(五十音順、敬称略)

あおき	な お
青木	奈緒
いし い	か す こ
石井	和子
いし か わ	み き こ
石川	幹子
い と う	か す あ き
伊藤	和明
お お ま ち	た つ ろ う
大町	辰朗
く ぼ	み き
久保	美紀
こ ば し	す み じ
小橋	澄治
さい と う	し ゅ ん い ち
斉藤	俊一
さん ぼ ん ぎ	け ん じ
三本木	健治
な か む ら	ひろ き
中村	浩之
まつ む ら	こ
松村	みち子
み ず や ま	た か ひ さ
水山	高久
や ま く ち	の が お
山口	昇士
や ま わ き	せい こ
山脇	晴子

作家

アナウンサー、気象予報士  
慶応義塾大学環境情報学部教授  
防災情報機構NPO法人会長  
NPO法人島原普賢会理事長  
明治学院大学社会学部助教授  
京都大学名誉教授  
NTT西日本電子自治体システムグループ 担当部長  
明海大学不動産学部教授  
東京農工大学大学院農学研究科教授  
タウンクリエイター代表  
京都大学大学院農学研究科教授  
箱根町長  
日本経済新聞社企画委員

砂防設備の安全利用点検の実施について  
— 点検結果について —

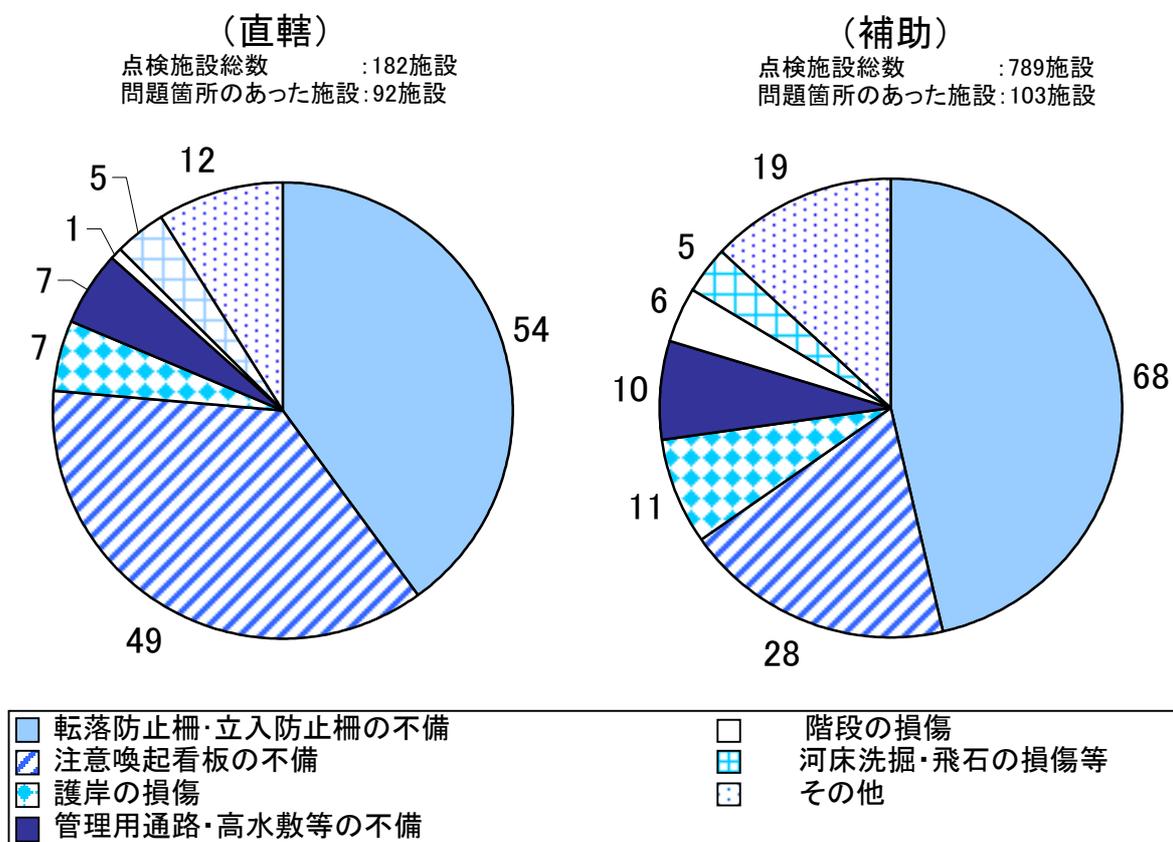
砂防部保全課

全国の直轄及び補助砂防事業を実施している区域で、水辺に親しむ利用等を目的として設置された砂防設備及び水辺に親しむ利用等が日常的に見られる砂防設備(親水護岸、遊砂地、高水敷、低水護岸、砂防堰堤、床固工、帯工、導流堤等)について安全利用点検をゴールデンウィークまでに実施した。

図-1に安全利用点検結果を示す。直轄砂防事業については、182施設中92施設、補助事業については789施設中103施設において何らかの問題があった。主な内容としては、転落防止柵、立入防止柵の不備や、注意喚起看板の不備等であった。

今回の調査では比較的高い比率で問題がある箇所が確認されたが、今後とも利用者への注意喚起を行いつつ、安全性の確保を図るため定期的に点検を行う予定である。

図-1 平成14年 砂防施設安全利用点検結果



※問題のあった内容については、重複回答あり

## 平成14年における土砂災害の概要

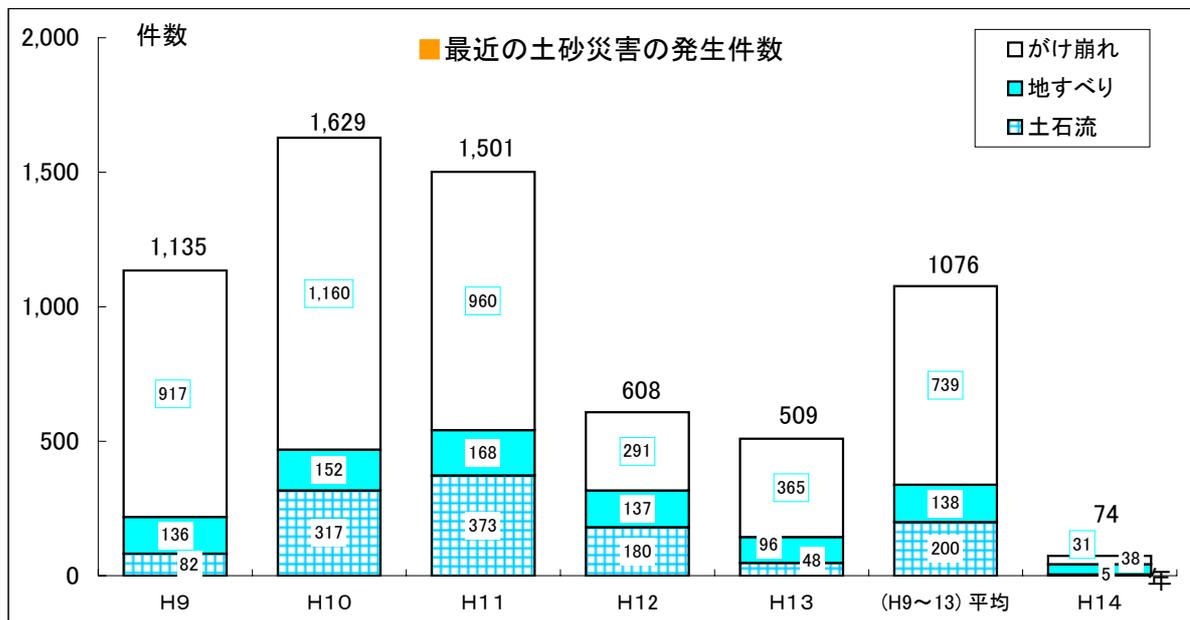
国土交通省砂防部保全課

平成14年5月20日 現在

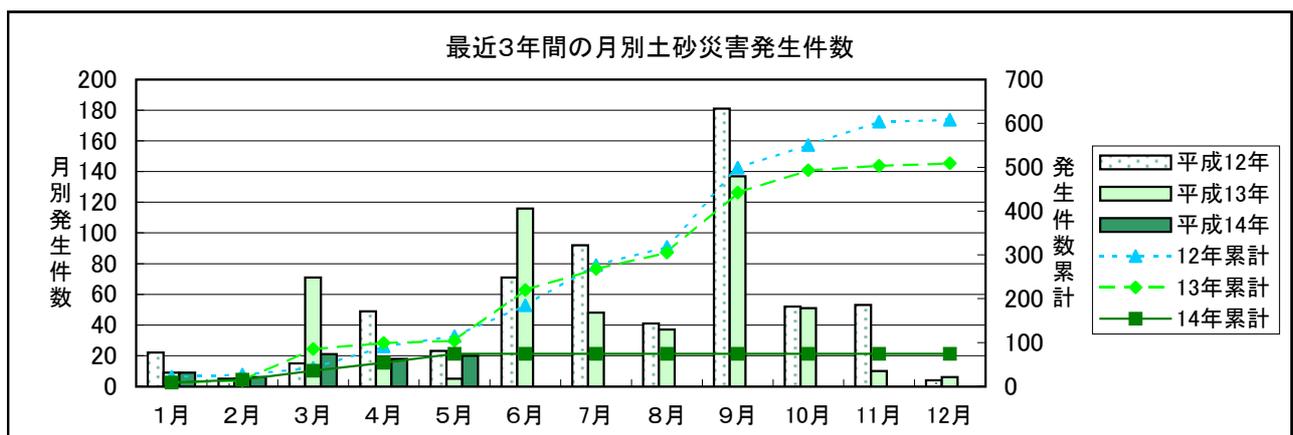
平成14年は 全国 23都道府県で 74件(土石流 5件、地すべり38件、がけ崩れ 31件)の土砂災害が発生している。

被害状況のうち人的被害については発生していない。

### (参考1) H14土砂災害と過去5ヶ年発生件数との比較



### (参考2) 最近3年間の月別土砂災害発生件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
平成12年	22	5	15	49	23	71	92	41	181	52	53	4	608
平成13年	9	5	71	14	5	116	48	37	137	51	10	6	509
平成14年	9	6	21	18	20								74

※今後ニュースレター発行に際し、災害関係の情報をお知らせします。

## 災害関連緊急対策事業の採択状況

(単位：百万円)

平成14年5月24日現在

## 平成14年 災害関連緊急砂防対策事業 採択箇所

No.	発生		災害発生箇所				災害発生溪流			備考	
	月	日	都道府県	郡・市	町・村	字	級	水系名	幹川名		溪流名
1	3	19	兵庫県	宝塚市	切畑	長尾山					山火事災害

## 平成14年 災害関連緊急地すべり対策事業 採択箇所

NO	発生日		所在地							備考
	月	日		県名	郡市	町村	大字	読み	箇所名	
1	3	11	山形県	南陽市		金山	かねやま	板宮	いたみや	
2	3	12	山形県	西村山郡	朝日町	大谷	おおや	仲丸	なかまる	
3	3	19	秋田県	北秋田郡	森吉町	小又	こまた	下前田	しもまえだ	
4	4	9	新潟県	新井市		長沢	ながさわ	中栗	なかぐり	
5	4	9	富山県	上新川郡	大沢野	寺津	てらつ	横平	よこひら	
6	4	15	新潟県	東頸城郡	浦川原村	谷	たに	細入	ほそいり	
7	4	18	長野県	北安積郡	小谷村	城	じょう	城	じょう	
8	4	18	新潟県	北魚沼郡	入広瀬村	芋鞘新田	いもざやしんでん	芋鞘新田	いもざやしんでん	

## 平成14年 災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 採択箇所

No	発生日		都道府県	市・郡	区・町・村	箇所	備考
	月	日					
1	3	22	山形県	西田川郡	温海町	山ノ下	
2	3	27	山形県	最上郡	真室川町	新町	
3	5	3	長崎県	長崎市		江川(3)	

## 平成14年 災害関連緊急雪崩対策事業 採択箇所

No	発生日		都道府県	市・郡	区・町・村	箇所	備考
	月	日					
1	3	12	長野県	南安曇郡	安曇町	白骨	

## 災害関連緊急事業 続々竣工！

山形県 泉郷災害関連緊急地すべり対策事業（東根市）

災害発生 平成 12 年 4 月 23 日

崩壊幅；200m、奥行き；500m

河川埋塞、護岸倒壊、市道冠水

事業概要 事業費 2,520 百万円

集水井、横ボーリング、押え盛土 など

関連事業 河川災害 事業費 128 百万円

護岸工、帯工

竣工式 平成 14 年 3 月 21 日（木）

・主な出席者

近岡理一郎 衆議院議員

国土交通省 亀江 保全課長 ほか

山形県 坂之井 土木部長（山形県知事代理） ほか

東根市 土田 市長

青柳 議長 ほか

地元の皆さん

太田区長、今野区長、柴田所長、太田団長、岡田組合長、

奥山会長、太田館長、今野会長 ほか

事業に御協力くださった地権者のみなさん

お手伝いの主婦のみなさん

トピックス

「泉郷地すべり解析検討委員会」を設置

夜間の避難訓練を実施（6月7日：地元自主防災会主体）

参加者数 110 名

東京都 神津島災害関連緊急砂防関係事業（大島支庁）

災害発生 平成 12 年 7 月 1 日、9 日などの群発地震（最大震度 6 弱）

平成 12 年 7 月 7 日 8 日台風 3 号に伴う豪雨

死者 1 名、人家全壊 1 戸、土砂災害報告 3 4 箇所

事業概要 災害関連緊急砂防事業 6 箇所

災害関連緊急地すべり事業 2 箇所

災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 3 箇所

災害関連緊急急傾斜地崩壊対策特別事業 1 箇所

災害関連緊急砂防関係事業採択額 合計 約 5 7 億円

竣工式 平成 1 4 年 5 月 1 6 日（木）

・主な出席者

国土交通省 原 保全調整官

東京都 青山 副知事 ほか

川島 都議会議員

神津島 清水村長 ほか

石野田 村議会議長

山下 前村長

社団法人 全国治水砂防協会

大久保 理事長

地元のみなさん

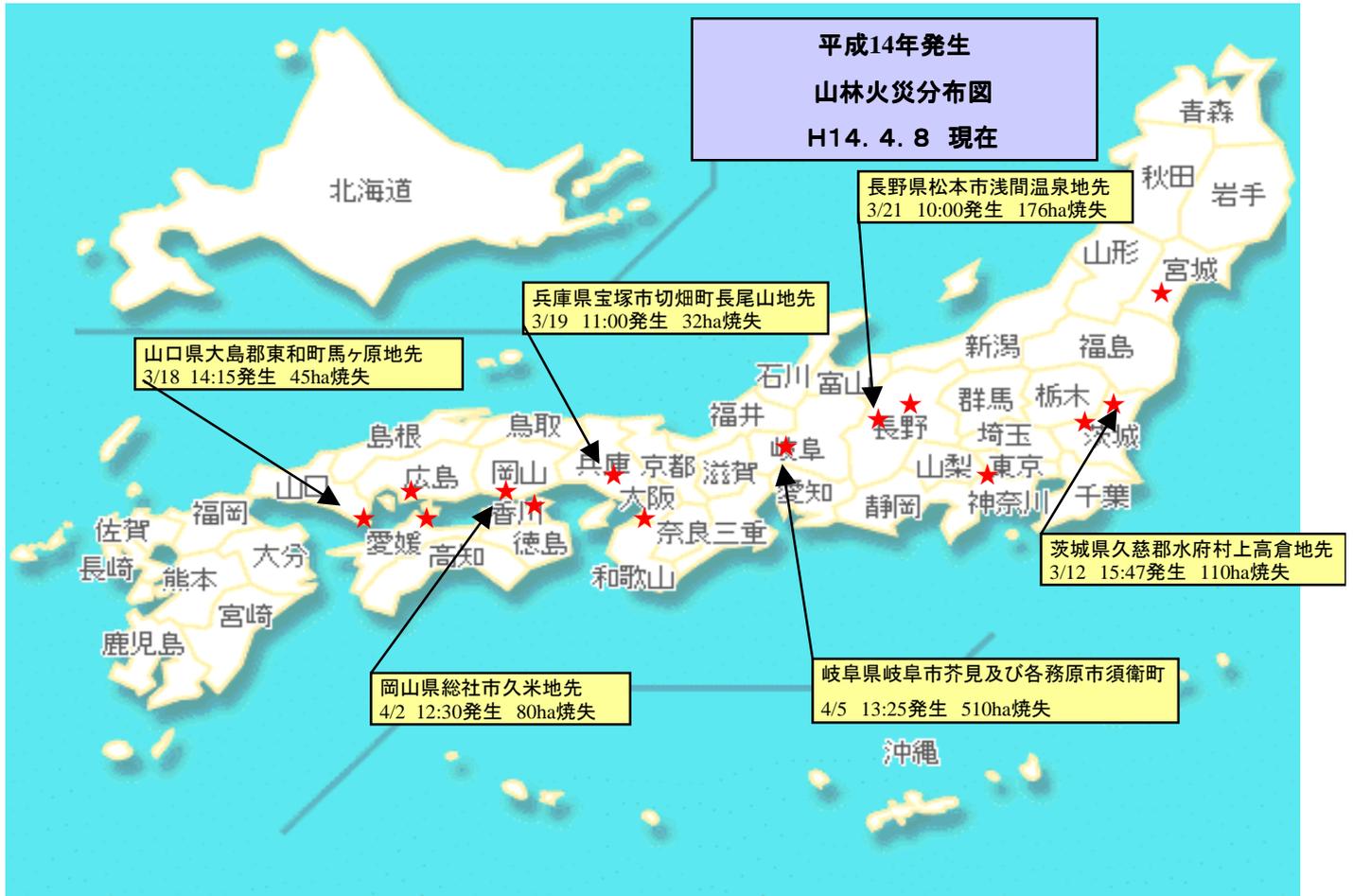
阿満 署長 ほか

太鼓の演技を披露してくださったみなさん

くす玉開披を行ってくれた小学生のみなさん

トピックス

「伊豆諸島土砂災害対策検討委員会（斜面分科会）」設置



平成14年の山林火災については、3月の中旬から4月の初旬にかけて全国で発生しており、14箇所、1,275.4haの焼失となっている。また、焼失面積100ha以上の火災が4件あり大規模な火災となるケースが目立つようになっている。



兵庫県宝塚市切畑町長尾山地先

## （社）全国治水砂防協会 第65回通常総会開催される

当協会の第65回通常総会が5月22日午前11時より、砂防会館別館内シェーンバ  
ッハ・サボ－「利根」会議室において開催されました。

当日は天候も良く、会員多数の出席のもと、来賓として佐藤静雄国土交通副大臣をは  
じめ多くの衆・参の国会議員、また国土交通省関係者など多くの方々のご臨席をいた  
だき、盛大に開会する事ができました。

はじめに綿貫会長が主催者の挨拶を行い議長席につき、佐藤静雄国土交通副大臣の祝  
辞をいただいた後、議事案件の審議に入りました。

事務局提案の予算・決算関連審議の4案件はすべて原案通り全会一致で承認されまし  
た。

またその後、協会の功労者表彰も行なわれ、滞りなく総会を終了できました。  
会員の皆様方をはじめ、関係各位に感謝申し上げます。

### ご臨席国会議員

### ご出席順

（衆）衆議院議員 （参）参議院議員

綿貫 民輔（衆）	佐藤 静雄（衆）	小淵 優子（衆）	中山 利生（衆）
岩井 國臣（参）	脇 雅史（参）	田村 公平（参）	伊達 忠一（参）
村岡 兼造（衆）	世耕 弘成（参）	佐田玄一郎（衆）	泉 信也（参）
景山俊太郎（参）	山下 英利（参）	岩城 光英（参）	熊谷 市雄（衆）
小野 清子（参）	太田 豊秋（参）	阿部 正俊（参）	御法川英文（衆）
石破 茂（衆）	森田 一（衆）	大村 秀章（衆）	西川 京子（衆）
高市 早苗（衆）	森山 裕（参）	松宮 勲（衆）	野上浩太郎（参）
稲葉 大和（衆）	森本 晃司（参）	岸 宏一（参）	石田 真敏（衆）
桜井 新（参）	古屋 圭司（衆）	棚橋 泰文（衆）	浅野 勝人（衆）
岩永 峯一（衆）	横内 正明（衆）	竹山 裕（参）	狩野 安（参）
左藤 章（衆）	白保 台一（衆）	岩屋 毅（衆）	真鍋 賢二（参）
太田 誠一（衆）	山本 有二（衆）	吉田六左工門（衆）	松下 忠洋（衆）

なお詳細は当協会機関誌「砂防と治水146号(6月号)」に掲載いたします。